

富士ゼロックス R&Dスクエアビルの エネルギー使用量見える化システム(EneEyes)

富士ゼロックス R&Dスクエアビルは、電力、都市ガス、地域熱供給のエネルギー供給を受け、空調、照明、コンセント接続機器(IT機器等)の利用などでエネルギーを使用し、CO₂を排出しています。

EneEyesは、これらの使用量やその他の環境に関する情報をさまざまな形で見える化し、エネルギー使用量の最適制御を行います。

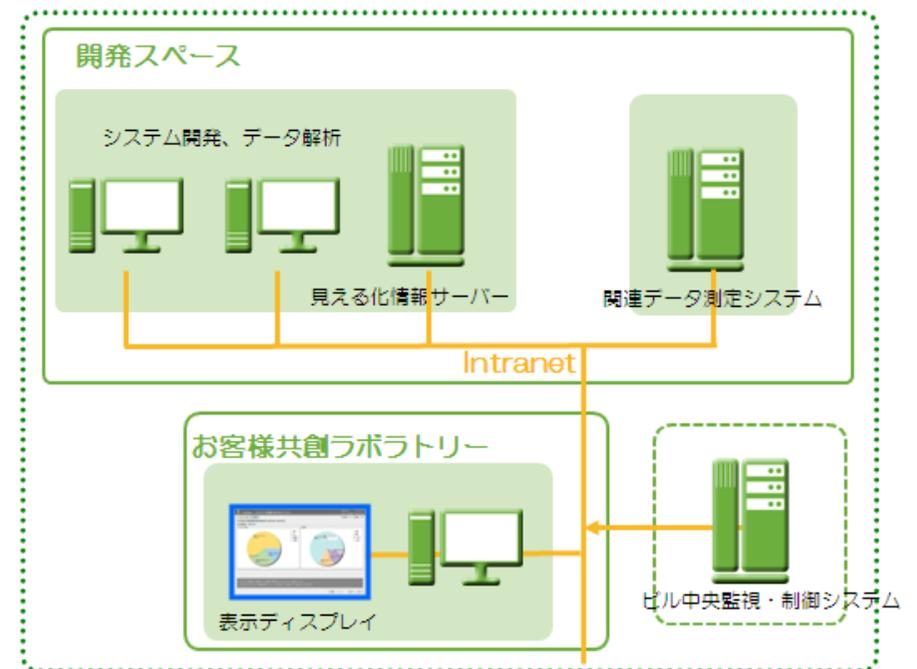
*2010/8/4の日経産業新聞等で紹介されました。

システム概要：

- ビル内1200余のセンサーからの詳細な測定
- 10分単位のリアルタイム測定
- フロア別、フロア内エリア別のエネルギー使用量比較
- エネルギー源別、用途別のエネルギー使用量、コスト比較表示
- 関連データ（在館者数、温湿度、用紙使用量など）との比較表示

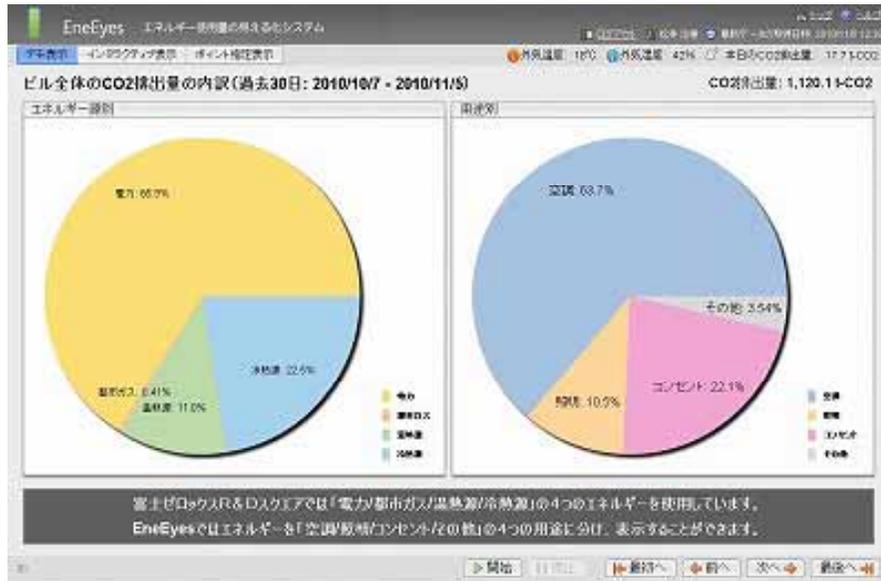


EneEyesトップ画面

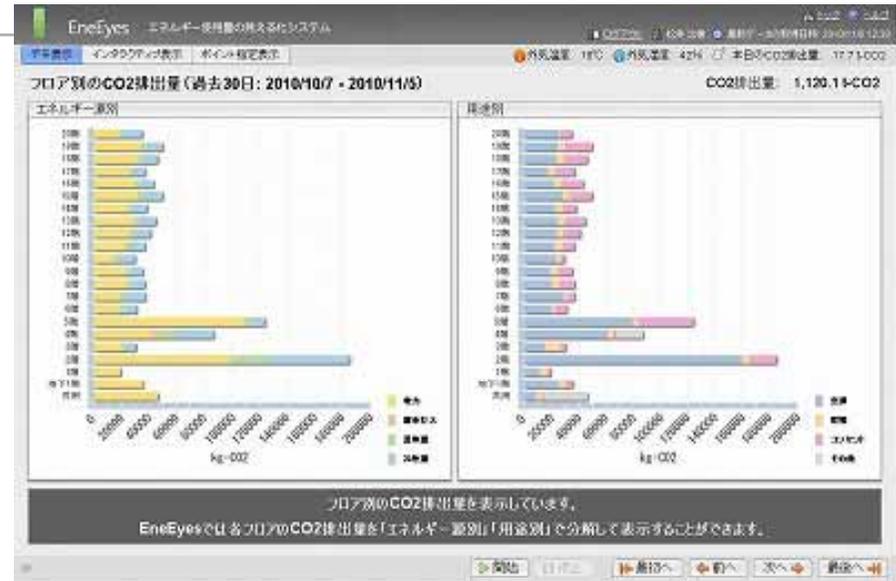


EneEyesシステム

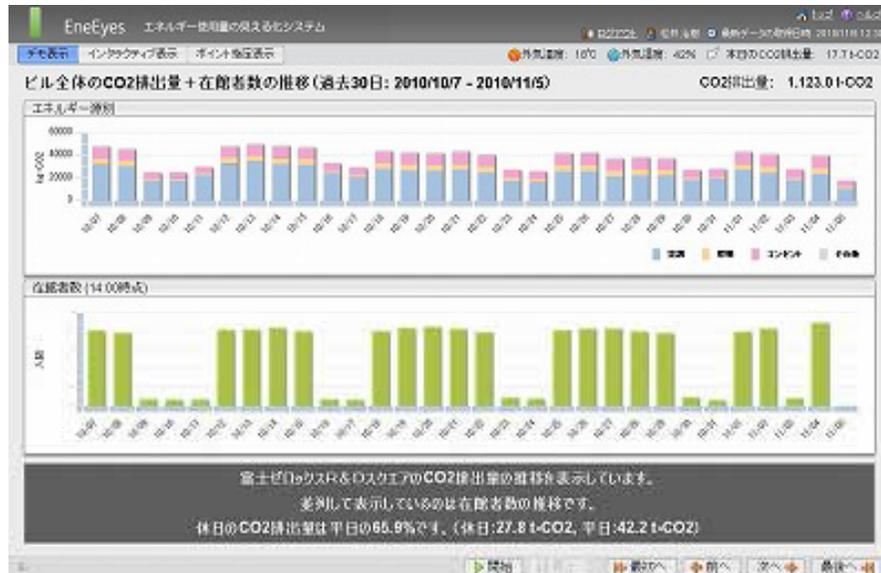
EneEyes画面サンプル



事業所全体のエネルギー源別、用途別内訳



フロア別エネルギー消費量



事業所全体、1ヶ月のエネルギーの時系列推移



あるフロアのエリア別エネルギー使用量

補足：富士ゼロックス R&Dスクエア概要

事業所名：横浜みなとみらい事業所

敷地面積約：14,600m²

建物：地下1階、地上20階建て、延べ床面積約135,250m²

従業員食堂、コンビニ、評価・実験設備、サーバールーム

従業員：約4,000人

利用目的：研究開発拠点として利用

竣工：2010年3月23日



主な採用環境技術

- ・人感センサーによる照明・空調の自動制御
- ・ブラインド自動昇降制御
- ・複層Low-e 外装ガラス
- ・雨水利用
- ・3300m²の緑地

CASBEE横浜2007年度版 = Sクラス